

IT パスポート試験 サンプル問題

マインド・スタンス分野 サンプル問題

問1 ある会社では、DX を利用した業務改革を DX 推進チームが進めている。DX 推進チームでは業務改革を進める過程で、失敗してもその都度軌道修正し、学びを得ることも成果であるという方針をとっている。新しい業務フローを検討していたチームメンバーの A さんは、失敗した場合の悪影響が不安で行動できていなかった。チームリーダーから、チームの方針に基づいて安心して進めるようアドバイスを受けた A さんの対応として、最も適切なものはどれか。

ア 失敗が許容される範囲の小さなサイクルで改善を行い、フィードバックを得て反復的に進めていく。

イ 失敗したときのことを想定して、自ら提案せずにほかのメンバーの提案を聞く。

ウ チームリーダーから、失敗しない方法を細かく指導されるのを待つ。

エ デジタルトランスフォーメーション促進の責任者であるチームリーダーに案を出してもらうように依頼する。

データマネジメント分野 サンプル問題

問2 データマネジメントが十分に行われていない場合に生じる“データのサイロ化”に関する記述として、最も適切なものはどれか。

- ア 収集したデータが、意味や来歴を説明する情報を伴わないまま蓄積され、内容を確認できず利用できない。
- イ 組織内の各部門が個別に保持するデータが相互に連携されず、組織横断での参照及び統合ができない。
- ウ 同一の項目に表記の異なる値が混在し、集計した結果が実態と一致しない。
- エ 保管期限を過ぎたデータが廃棄されずに残り、管理の対象が増え続ける。

問3 顧客データに関するメタデータはどれか。

- ア 顧客ごとに登録された氏名及び住所の値
- イ 顧客ごとの取引金額の合計
- ウ 顧客番号の採番の規則や粒度の説明
- エ 前月末時点の顧客数

情報倫理・AI 倫理分野 サンプル問題

問4 A 社では、インターネット上で提供されている生成 AI サービスを、自社の事業活動で利用することを検討している。利用における留意事項として、適切なものだけを全て挙げたものはどれか。

- a A 社では B 社と秘密保持契約を結んだ上で共同研究を行っているが、共同研究に関する機密情報を生成 AI に入力した場合、B 社との秘密保持契約に抵触するおそれがある。
- b A 社では顧客の個人情報を取得し、マーケティング活動に利用しているが、顧客分析を目的として個人情報を生成 AI に入力した場合、第三者提供に該当するおそれがある。
- c A 社では自社が属する業界の動向に関して情報収集を行い、その結果を製品開発に利用しているが、生成 AI を用いて情報収集を行った場合、得られた情報に誤りが含まれるおそれがある。

ア a, b

イ a, b, c

ウ b, c

エ c

IT パスポート試験 サンプル問題 解答例

問番号	正解
問 1	ア
問 2	イ
問 3	ウ
問 4	イ